



反省

①～②寄り付き付近のスクヤ

①→フジクラの上位足のトレンドは下落トレンドだが、5分足の直近（前営業日からの）のトレンドが上昇トレンド。GDをしてはいるが、エントリーした時点でほぼ続き足になる位置で、いったんの5分足レベルでの上昇トレンドが継続すると見た方が良かった。指数の動きも加味して売り目線に決めつけるのは良くなかった。

何度か上値が跳ね返されているポイントでショート。普通に貫かれ損切に。1回目が損切になった時点で、2回目のエントリーは防げた。1本目の足で目線を決めつけるのはもはや運。

根拠が複数無い場合はやる意味ない。環境認識も間違えている

②→上手くいかない時にエントリーをするポイントだった。①で損切後に指数の動きも加味して買い目線に転換した。ここで入ったら上昇トレンドになるとしたときに最も損切が少なく済む箇所であるが、高確率でだましとなる箇所でもある。

寄りからの2本分の足と指数の動きから、無限上げモードに突入する『かも』という推測で入っている。

エントリーした足が完成した時点で上か下かの判断が絞られるから待つべきだった。

損切が少なく済むからと気軽にエントリーしている。良くなかった。

③→下値を追いかけるショート×

④→圧倒的下落トレンドが継続するとしたら、損切幅が少なく済むエントリーポイントだった。

これが損切になったら、いつもなら意固地にもう一度ショートを打つのだが、今日はいつもそれで負けているから目線を買目線に変更した。

⑤→決めた損切ライン・利確ラインまでしっかり握れた。状況的に握るほうが後悔が少ないと判断した。

損切ラインが切り上がっていった結果的に利確になったが損切のようなものだった。

結果的には早利確の方が良かったが、試行回数を重ねると握った方がトータル的に勝てるからこれで良い。

⑥→⑤を利確したときに、下に行きそうな感じがしてショート。このエントリーは④で自信がなかったから自分で下目線のバイアスを自分自身に勝手にかけていただけ。

全く意味のないポジション。

⑦→②と同様のポイント。ローソクのパターンの期待値が正直全くないエントリー。

⑧→エントリーした足が完成してからエントリーすべきだった。

損切額はほぼ変わらないが